

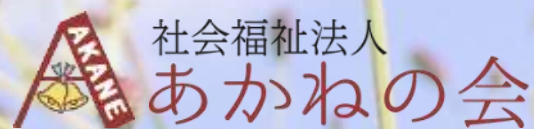
練馬区教育委員会委託 子育て学習講座



障がい者を納税者に
～自分らしく生きるために～

人として生きていくために何が必要か？ ～「ことば」の発達を促すには～

令和5年9月25日 ココネリ3階研修室I



支援アドバイザー 吉田 由紀子
臨床発達心理士・特別支援教育士

人として生きていくために、何が必要か？

いつ？

令和の時代

どこで

日本の大都会である東京で

どうやって

人として生きていく



衣食住の充足

- 衣

今の時代、この東京で生きていくためには、絶対、洋服を着なければならない。

- 食

1日3食食べる

一食でも抜いて生きていけるか？

- 住

住む家は絶対必要

家がなければ浮浪者にならざる得ない



衣食住を支えるための収入

働くことで収入を得る必要がある
働くためには、どんな力が必要か？

今の日本では
障害者雇用率2.3% ➡ 3年後に2.7%



目と手の協応動作

仕事は、目と手を使うことが「殆ど」

パソコン



掃除



洗浄



指示を聞く力

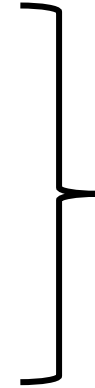
仕事の指示を聞いて、その通りに行動する力 → 言語理解力

言語指示の意味がわかり、その通りの行動をとれる力をつける



自分の思いを伝える力

トイレに行きたい
指示された仕事が終わった
次、何をするか聞きたい



→ 言語表現力



言語表現力をどう育てるか？

体験を通して言葉を育てる

知的障がいがあると、脳に定着するのに3,000回の経験が必要とされている。

繰り返し、体験に言葉を添えて教えていく。



どんな語彙を増やすか？

名詞 物の名前（湯のみ、小鉢、大皿、中皿、小皿など）

動作語 洗う、ゆすぐ、乾かす、拭く、

比較語 大きい小さい、温かい冷たい、固い柔らかい
長い短い、太い細い、広い狭い



相手に伝わるコミュニケーション

いつ

どこで

だれが

何をした



障がい特性に合わせた工夫を

言葉の指示が入りやすいタイプ

言葉より書いた物の方が理解しやすいタイプ

図で描いた物の方が理解しやすいタイプ

特性に合わせた支援の工夫をする



ご清聴ありがとうございました。

あかねの会では知的障がいがあっても、社会の中で当たり前働き、生活できていけるように願っています。